

コード	205030405
記入日	H26.11.7

新規事業評価表【事前評価】

課コード	106
課名	総務課
課長名	堀江 英生
担当者	宇戸 佐一郎

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	消防詰所解体事業
----------	----------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 26 年度 ~ 平成 26 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け		
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	9	
施策コード	205	施策名称	安全を実現できる体制づくり	項コード	1	
基本事業コード	20503	基本事業名称	消防団組織と消防施設の充実	目コード	3	
事務事業コード	2050304	事務事業名称	消防施設管理事業費	細目コード	502	
関連計画					法令・条例規則等	

計画 (PLAN)

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標
(対象1) 消防詰所 (対象2)	(対象指標1) 1棟 (対象指標2)
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標
・用地の所有者より土地の再活用をしたい旨の要望があり、旧有川地区第4分団消防詰所の解体及び処分を行う。	(活動指標名称) (活動指標数値) (指標積算根拠) (目標達成年度)
	① 解体工事 1棟 平成26年度
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標
・既設の有川地区第4分団消防詰所は、昭和59年12月24日に建設され現在に至っている。今回の旧第4分団消防詰所は、それ以前に民有地への無償賃借により建設された木造瓦葺2階建ての詰所であるが、建設年月日も不明で老朽化も激しいため危険であり、また、所有者から用地の再活用をしたいとの要望があり周辺地域への環境や安全性を配慮し解体、処分を行う。	(成果指標名称) (成果指標数値) (指標積算根拠) (目標達成年度)
	① 住民の安全性確保 平成26年度

実施 (DO)

	単位	全体計画		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度以降
		H 26 ~ H 26								
活動指標	① 棟	1	1							
	②									
成果指標	①									
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	1,926	1,926							
直接事業費 A	千円	1,226	1,226							
人件費 B	千円	700	700							
内 訳	従事職員数	人	0.1							
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C の 財 源 内 訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起 債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	1,926	1,926							

評価 (CHECK)

評価項目		内 容
1 次 評 価	・事業の緊急性・必要性はありますか。	所有者からの要望でもあるが、当消防詰所は老朽化が激しいため、台風等の影響により隣接している家屋が危険である。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	隣接している住民の不安が解消される。
	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	町が用地を借用して建設しているので、町が解体をすべきである。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	隣接住民の不安が解消されない。
	・事業費を削減できませんか。(費用対効果)	必要最低限の事業費である。
	・受益者負担は適正ですか。	受益者負担はない。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	類似事業はない。

2次評価	近隣住宅への危険回避及び土地の有効活用を図るうえで本事業の実施は必要と判断する。
-------------	--

3次評価 住民等の意見	
------------------------	--

町の対応	
-------------	--

事業の方向性	1次	2次	3次	
	●	●		計画どおりに事業を実施する
				事業内容を見直して事業を実施する
				実施期間を見直して事業を実施する
				事業費を減額して事業を実施する
				類似事業と整理統合して実施する
	1次	2次	3次	
				次年度以降に計画どおり実施する
				次年度以降に計画を見直して実施する
				次年度以降に類似事業と整理統合して実施する
				当分の間は実施しない

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。